

社会医療法人 敬愛会

敬和医院

入院案内



社会医療法人敬愛会の理念

- 一、良質な医療を地域に提供
- 一、ホスピタリティ精神に徹する
- 一、経営基盤の安定化
- 一、職場は学びと創造の場

患者さんの権利

1. 人間としてその人格を尊重されます
2. 良質な医療を平等に受けられます
3. 病気・検査・治療等についてよくわかるまで説明を受け、自分の意志でどうするかを選択することができます
4. 個人情報やプライバシーは守られます
5. 自らの診療情報の開示を求めることができます
6. 治療のいかなる段階においても自由に質問し、自分の考えを伝えることができます
7. 医療のどの段階においても別の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利を有します

患者さんとのパートナーシップ

1. 安全の確保のため、アレルギー歴など、自らの健康に関する情報をできるだけ詳しく正確に伝え、共に治療にご参加ください
2. 処置、検査、手術、注射、点滴、採血などを受けられる場合は、職員と共にご自分のお名前をご確認ください
3. ご自身のお名前を書いたリストバンドを装着させていただきます
4. 転倒・転落の事故防止のため、歩行や立ち上がりに不安のある場合はご遠慮なくお申し出ください
5. 医療サービス全般、苦情、提案など患者さんやご家族のご意見を尊重するため、患者相談窓口へご相談ください
また利用者の声を設けておりますのでご利用ください
6. 治療中の心身の変化、問題が起こった場合は職員にお伝えください
7. 他の患者さんの権利を尊重し、診療および職員の職務に支障をきたさないために協力してください

医の倫理

私たちは、法人の職員としての責任の重さ、そして職業の責任を常に自覚し、次のとおり医療を提供します

1. 医師は生涯学習の精神を保ち、つねに医学の知識と技術の習得に努めるとともに、その進歩・発展に尽くす
2. 医師はこの職業の尊厳と責任を自覚し、教養を深め、人格を高めるように心掛ける
3. 医師は医療を受ける人びとの人格を尊重し、やさしい心で接するとともに、医療内容についてよく説明し、信頼を得るように努める
4. 医師は互いに尊敬し、医療関係者と協力して医療に尽くす
5. 医師は医療の公共性を重んじ、医療を通じて社会の発展に尽くすとともに、法規範の遵守および法秩序の形成に努める
6. 医師は、医業にあたって営利を目的としない

医療者の倫理

1. 職員は個人の尊厳の保持と生命の尊重を基本とした姿勢で職務にあたります
2. 職員は患者さんの権利を尊重し、思いやりのある心で接します
3. 職員は医療の担い手として、他職種とも常に協力していき、職業人としての責任を果たせるよう努めます
4. 職員は患者さんのプライバシーを尊重し、なおかつ職務上の守秘義務を遵守します
5. 職員は、その職務遂行にあたって、品位と信用を損なわないよう行動します



入院手続き

入院説明対応時間	■月曜日～金曜日	9:00～17:00
	■土曜日	9:00～12:00

●入院申込書をお渡ししますので必要事項を記入の上、保険証を添えて、受付窓口へご提示ください

- ・入院誓約書
- ・保険証、高齢受給者証、医療受給者証、限度額認定証
- ・介護保険証、負担割合証

●入院申込書の連帯保証人は、別世帯の方で独立して生計を営む成人の方に限ります

持参するもの

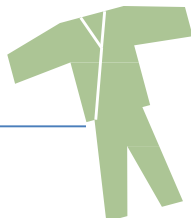


<input type="checkbox"/> 診察券・保険証（入院・退院手続き時に使用します）
<input type="checkbox"/> 洗面用具・歯ブラシ
<input type="checkbox"/> お箸・スプーン・コップ（コップは割れにくいもの）2つ（口腔ケア用・飲水用）
<input type="checkbox"/> 室内ばき（転倒防止用の軽量で滑りにくく、かかとのある履き物）
<input type="checkbox"/> ボックスティッシュ（1箱） <input type="checkbox"/> おしりふき（ウェットティッシュ）1つ
<input type="checkbox"/> 肌着類（必要時ご持参ください）
<input type="checkbox"/> 入れ歯ケース（蓋付き）※入れ歯の紛失については、当院は一切責任を負いかねますので、個人管理をお願いいたします
<input type="checkbox"/> シャンプー・石けん・保湿剤（ボディローション・クリームなど）
<input type="checkbox"/> 食事用エプロン（必要な方） <input type="checkbox"/> ひげそり（必要な方）



※普段の生活習慣が継続できるよう愛用しているもの（ヘアブラシ、電動ヒゲソリ、化粧品類、病室でできる趣味のもの、など）があれば持参してください

寝具・病衣・タオル類・オムツについて



- 寝具類は当院で用意いたします
- 病衣およびタオル類（バスタオル・フェイスタオル）については、当院で準備（※有料となり、別途同意書記載を要します）しておりますが、私物を使用しても構いません（バスタオル1～2枚、フェイスタオル2枚程度を随時補充お願いいたします）
- オムツは院内で統一したオムツを使用しております（※有料となり、別途同意書記載を要します）

入院中は

毎日行っております

【お食事（配膳時間）】

朝食 午前8時

昼食 午後12時

夕食 午後6時

【病衣・タオル類・シーツ交換について】

- 病衣・タオルの借用申込をされた方は、毎日交換できます
使用した病衣、タオルは所定のランドリーバックへ入れてください
- シーツ交換は1週間に1回行いますが、汚れた時は申し出てください

【回診】

毎日、医師による回診がございます
病状について気になる点がございましたらお聞きください

ネームバンドの装着をお願いします

**入院患者さんすべての方に
ネームバンドの装着をお願いしております**



安心して入院治療を受けていただくために
ネームバンドを装着し、患者さんご自身であることの確認をしております

ご利用いただけます

【貸冷蔵庫・テレビ】

各病室にてご利用いただけます（※有料）

【新聞】

病棟ダイルームにて閲覧いただけます

【無料Wi-Fi】

病棟で無料Wi-Fiサービスがご利用いただけます

上記に関するお問い合わせは、病棟スタッフまでお願いします

ご協力お願いします

【面会時間】 休日・平日共 午後1：00～午後9：00

- ◆面会時間は患者さんに十分な安静と療養をしていただくために上記のように定めております
- ◆この時間外の面会は診療上および他の患者さんに迷惑となりますのでご遠慮ください
- ◆感染予防のため、マスク着用をお願いします。お子様連れの面会のご遠慮いただいております
- ◆患者さんの病状により面会をお断りする場合がございますのでご了承ください
- ◆感染症患者への濃厚接触など体調に不安のある方の面会のご遠慮いただいております

【消灯時間】 午後10：00

【テレビ鑑賞時間】 午前6：00～午後10：00

病室でテレビをご利用いただけます

テレビの音量は同室患者さんの迷惑にならないようご使用ください

【シャワー利用時間】 午前8：00～午後8：00

【部屋移動】 入院患者さんの状態にあわせ、または当院の都合により部屋を移動することがございます

【外出・外泊】 主治医の許可が必要ですので、希望時申し出てください

【表札】 患者さん自身である事を確認するため、病室の前に名前を表示しています（都合が悪い方は病棟スタッフへ申し出てください）

【医学生・看護学生等】 当院では、有資格者のもと、医学生、看護学生等の実習を行っております。ご理解・ご協力をお願いいたします

【退院時間】 午前10：00までをお願いします

- 主治医からの退院許可により退院証明書をお持ちいたします
入院費のお支払いは、1階受付にてお願いいたします
（お支払いの際は受付へ保険証の提示もお願いいたします）
- 他院より紹介で入院された患者さんについての退院後の外来診察は、紹介元で行う場合がございます
（退院時に当院より返書をお渡しいたします）

入院生活は、共同生活の間でもございますので、

より良い療養を送るためにも、医師・看護師の指示をお守りください

（もし、お守りいただけない場合には、退院していただくこともございますので、ご留意ください）

入院中の他医療機関の受診について

入院期間中に、専門的治療を受ける以外に他医療機関で診療を受けることやお薬の処方を受ける（ご家族がお薬を取りに行く場合も含む）ことは出来ません

例えば

- 当院入期間中に「他の病院やクリニックの診療予約日がある」
- 他の病院やクリニックの先生に処方してもらったお薬が切れたため、もらいに行きたい

このような場合は、必ず病棟看護師にご相談ください。当院で処方可能なお薬は当院で処方いたします。ただし、精神科のお薬は当院で処方できないことが多いため、残薬が少ない場合は、入院前に受診し、ご準備をお願いいたします

医療相談室を ご利用ください

医療ソーシャルワーカーが
個別に皆様からのご相談に応じます

医療ソーシャルワーカーとは

患者さん・ご家族が安心して治療・療養
できるようお手伝いをする医療スタッフです

- 身体障害者手帳や障害年金について
- 介護用品・福祉用具給付や配食サービスなど
- 健康保険や年金のこと
- 難病に対する特定疾患
- 患者会や家族会についてなど

医療費・
生活費・
仕事について

これからの生活は
どうなるのだろう

在宅療養や転院のこと
施設の利用など

制度や手続きに
ついて知りたい

その他の不安
や悩みについて
話し合いたい

福祉制度の
利用方法を
知りたい

098-939-1300 (医療相談室)

患者さん相談窓口

患者さん及びご家族からの
医療に関する苦情やご相談を
担当者がお受けいたします

- 職員の対応に関するご意見
- 環境や設備といった施設に関するご意見
- インフォームドコンセントに関するご相談
- セカンドオピニオンに関するご相談
- 治療上診察・検査・手術・入院または定状経過不良等に関する疑問
- 医療事故または医療過誤に関する相談

098-939-1300 (医療安全推進室)

入院費

入院費は毎月、次の通りの請求となります

①同一月内の入院～退院については、退院日にまとめて請求させていただきます

②入院継続中であれば、前月分をまとめて翌月10日頃に請求いたします
なお、入院継続中のお支払いについては、診療費請求書が届いてから3日以内をお願いいたします

●入院料の計算方式については、厚生労働省の医科点数表解釈に基づき、入院および退院する時間帯に関係なく1日単位で計算する扱いとなっておりますのでご了承ください

(例：1泊2日の入院の場合、入院料は2日分となります)

●支払い場所：なかがみ地域包括センター1階受付にてお願いいたします

※入院費用の相談および質問がございましたら、1階受付へお尋ねください

個室

個室を希望される場合、「1日につき」次のような追加料金が要ります

区分	個室A	個室B
料金(税込)	1日 2,200円	1日 1,100円

(注) 個室の費用については、厚生労働省令により入室・入室した時間に関係なく1日単位の計算扱いとなりますのでご了承ください

(例：1泊2日の入院の場合、個室料は2日分となります)

※病室移動の協力をお願いすることもございます。ご了承ください

※テレビ、冷蔵庫代は別途請求となります

食事療養費

入院時の食事は食事療法として治療効果を一層高める治療食を召し上がっていただいております

※市町村民税非課税世帯に属する方、または老齢福祉年金を受給している方は、食事療養費減額認定証を提示することにより負担額が軽減されます



禁煙



当院は館内および敷地内禁煙となっております

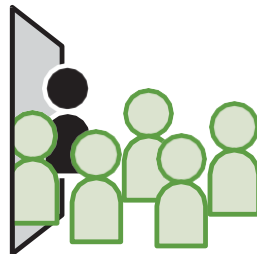


盗難に注意

貴重品、大金は院内に持ち込まないでください

あなたの留守や睡眠中を狙っています

患者さんが部屋にいないすきをみて面会人を装い



お見舞いの方が帰った後を狙い親戚のふりをして

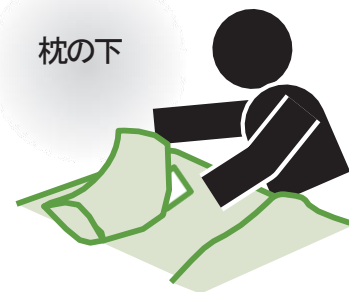
こんなところも狙われます



上着の内ポケット



引き出しの中



枕の下

盗難予防のため、カギ付の床頭台をご利用ください

- 床頭台は必ず施錠し、カギは貴重品と同様に各自で管理してください
- カギを紛失した場合のカギ作成費用は有料となります
- 院内における盗難について当院は一切責任を負い兼ねます



駐車場



- 駐車場は台数に限りがございますので、入院期間中の駐車はご遠慮ください
- 駐車場・院内における盗難・事故について当院は一切責任を負い兼ねます



その他

原則として持ち込み禁止の電気製品がございます。入院される病棟でご相談ください

- 火災の危険があるもの（ドライヤー、電気ポットなど）
- 感染管理上問題があるもの（加湿器など）
- その他（扇風機、冷蔵庫、電気毛布など）
- 火災、その他非常の場合は職員の指示に従ってください
- 退院時、金品などのおこころざしはお断りいたします

入院中の患者さんへ

- 面会者の案内
 - 電話の取り次ぎ
 - ご家族への病状説明
- などを行うことがございます

支障のある方はお申し出ください

入院預かり金について

当院では
入院時に預かり金として
2万円をいただいております

入院時に入院費等の相談（補助制度活用方法など）を事前に行うことで安心して入院治療に専念していただくことを大きな目的としています。ご理解、ご協力よろしく申し上げます

お預かり～返金までの流れ

① 入院当日に受付へ入院申込書提出と合わせてお納めくださるようお願いいたします



② 受付では、入院預かり金をお預かりした際、預かり証を発行いたします
(再発行は致しませんので、大切に保管されるようお願いいたします)



③ 退院会計時に「入院預かり金」を精算いたします。その際、「預かり証」の確認が必要となりますので、必ずご準備くださるようお願いいたします

ご不明な点、その他相談等がございましたら、受付事務担当者へお問い合わせください

個人情報保護方針

当院は、個人の権利・利益を保護するために、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考えます。個人情報保護に関する方針を以下のとおり定め、職員及び関係者に周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます

1. 個人情報の収集・利用・提供

個人情報を保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の収集、利用および提供に関する内部規則を定め、これを遵守します

2. 個人情報の安全対策

個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざんおよび漏洩などに関する万全の予防措置を講じます。万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します

3. 個人情報の確認・訂正・利用停止

当該本人（患者さん）等からの内容の確認・訂正あるいは利用停止を求められた場合には、別に定める内部規則により、調査の上適切に対応します

4. 個人情報に関する法令・規範の遵守

個人情報に関する法令およびその他の規範を遵守します

5. 教育および継続的改善

個人情報保護体制を適切に維持するため、職員の教育・研修を徹底し、内部規則を継続的に見直し、改善します

6. 診療情報の提供・開示

診療情報の提供・開示に関しては、別に定めます

7. 問い合わせ窓口

個人情報に関するお問い合わせは、各部署責任者または以下の窓口をご利用ください

個人情報保護相談窓口：医療安全推進室

- 同意しがたい事項がある場合には、その旨をお伝えください
- お申し出のないものについては、同意していただいたものとして取り扱わせていただきます
- これらのお申し出は後からいつでも撤回、変更等を行うことが可能です

別表：通常の業務で想定される個人情報利用目的

【患者さん等への医療の提供に必要な利用目的】

〔当院での利用〕

- ・当院で患者さん等（検診・健診・ドックを含む）に提供する医療
- ・医療保険事務
- ・患者さんに係る管理運営業務のうち、
 - －入退院等の病棟管理
 - －会計・経理
 - －質向上・安全確保・医療事故あるいは未然防止等の分析・報告
 - －患者さん等への医療サービスの向上

〔他の事業者等への情報提供〕

- ・当院が患者さん等に提供する医療のうち、
 - －他の病院、診療所、助産所、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業者等との連携
 - －他の医療機関等からの照会への回答
 - －患者さん等の診療等に当たり、外部の医師等の意見・助言を求める場合
 - －検体検査業務の委託・その他の業務委託
 - －家族等への病状説明
- ・医療保険事務のうち、
 - －保険事務の委託
 - －審査支払機関又は保険者へのレセプトの提出
 - －審査支払機関又は保険者からの照会への回答
- ・事業者等からの委託を受けて健康診断等を行った場合における、事業者等へのその結果の通知
- ・医師賠償責任保険などに係る、医療に関する専門の団体、保険会社等への相談又は届出等
- ・第三者機関への質向上・安全確保・医療事故対応・未然防止等のための報告

【上記以外の利用目的】

〔当院での利用〕

- ・医療機関等の管理運営業務のうち、
 - －医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料
 - －医師・看護師・薬剤師・検査技師・放射線技師・理学療法士・栄養士・医療事務等の学生実習への協力 医師・看護師・薬剤師・検査技師・放射線技師・理学療法士・栄養士等の教育・研修
 - －症例検討・研究および剖検・臨床病理検討会等の死因検討
研究、治験及び市販後臨床試験の場合。関係する法令、指針に従い進める。
治療経過および予後調査、満足度調査や業務改善のためのアンケート調査

〔学会・医学誌等への発表〕

特定の患者・利用者・関係者の症例や事例の学会、研究会、学会誌等での報告は、氏名、生年月日、住所等を消去することで匿名化する。匿名化困難な場合は、本人の同意を得る。

〔他の事業者等への情報提供を伴う事例〕

- ・当院の管理運営業務のうち、
 - －外部監査機関への情報提供
 - －当該利用者に居宅サービスを提供する他の居宅サービス事業者や居宅介護支援事業所等との連携（サービス担当者会議等）、照会への回答

- 同意しがたい事項がある場合には、その旨をお伝えください
- お申し出のないものについては、同意していただいたものとして取り扱わせていただきます
- これらのお申し出は後からいつでも撤回、変更等を行うことが可能です

診療情報の提供および 個人情報の保護に関するお知らせ

当院は、患者さんへの説明と納得に基づく診療（インフォームド・コンセント）
および個人情報の保護に積極的に取り組んでおります

診療情報の提供

- ◆ ご自身の病状や治療について質問や不安がおりになる場合は、遠慮なく、直接、担当医師または看護師に質問し、説明を受けてください。この場合には、特別の手続きは必要ありません

診療情報の開示

- ◆ ご自身の診療記録の閲覧や謄写をご希望の場合は、遠慮なく、各診療科の受付、もしくは受付窓口
に開示をお申し出ください。開示・謄写に必要な実費をいただきますので、ご了承ください

個人情報の内容訂正・利用停止

- ◆ 個人情報とは、氏名、住所等の特定の個人を特定できる情報を言います
- ◆ 当院が保有する個人情報（診療記録等）が事実と異なるとお考えになる場合は、内容の訂正・利
用停止を求めることができます。医療安全推進室にお申し出ください。調査の上、対応いたします

個人情報の利用目的

- ◆ 個人情報は以下の場合を除き、本来の利用目的の範囲を超えて利用いたしません
- ◆ 診療のために利用する他、病院・診療所運営、教育・研修、行政命令の遵守、他の医療・介護・福祉施
設との連携等のために、個人情報を利用することがございます。また、外部機関による評価、学会
や出版物等で個人名が特定されないかたちで報告することがございます。詳細は別紙に記載します
- ◆ 当院は医療専門職の研修病院と連携しており、研修・養成の目的で、医療専門職及びその学生が、診療
、看護、処置などに同席する場合がございます。その際は職員と同様、個人情報を遵守します
- ◆ 当院では、一部、検査等を外部に委託する場合がございます。その際に、患者様の情報をこれらの
施設に知らせる必要のある場合がございます。この場合、当院では、信頼のおける施設等を選択する
と同時に、患者さんの個人情報が不適切に取り扱われないよう契約を取り交わします

ご希望の確認と変更

- ◆ 治療、外来予約（診察・検査・処置・指導等）や入院予定の変更、療養給付・保険証等の確認等、緊
急性を認めた内容について、連絡する場合がございます
もし、都合が悪い場合には、受付窓口へお申し出ください
- ◆ 外来等での氏名の呼び出しや、病室における氏名の掲示を望まない場合には、お申し出ください
ただし、事故防止・安全確保のためには、呼名および氏名の掲示が望ましいです
- ◆ 電話あるいは面会者からの、部屋番号等の問い合わせへの回答を望まない場合には、お申し出ください
- ◆ 一度出されたご希望を、いつでも変更することが可能です。お気軽にお申し出ください

相談窓口

- ◆ ご質問やご相談は、各部署責任者または以下の個人情報保護相談窓口をご利用ください

個人情報保護相談窓口：医療安全推進室

- 同意しがたい事項がある場合には、その旨をお伝えください
- お申し出のないものについては、同意していただけたものとして取り扱わせていただきます
- これらのお申し出は後からいつでも撤回、変更等を行うことが可能です

患者・家族の安全対策8ヶ条

医療の主役は患者さん自身です

病気を治療するためには、患者さん自身が自分の気持ちを明確に伝えられ、また要望を述べられて、より良い環境のもとで医師と看護師、患者さんと共に治療を進めていくことが大切です
当院では、患者さんやご家族との信頼関係を構築し、より安全で適切な医療を提供するために、以下のような取り組みを行っております。ご協力お願いいたします

第1条

分からないことがある時は、そのままにしない。質問事項をあらかじめメモしておく

- ◆ 診断・検査・治療などでわからないことは、医師または看護師にお聞きください
- ◆ 質問したいことをあらかじめメモしておくとう便利です。医師にお渡しになっても結構です
質問内容にそってご説明いたします
- ◆ 医師の説明で不明な点や納得できないことがありましたら、遠慮なく医師や看護師にお申し出
ください再度、説明の機会を設けます
- ◆ 手術・検査の同意書については説明書をしっかりお読みになり、納得のうえ署名・捺印を行って
ください(インフォームドコンセント)
- ◆ 入院生活の中で疑問点がございましたらその都度、看護師にお申し出ください

第2条

できれば2人以上で説明を聞く

- ◆ 医師からの説明は、できれば患者さんお一人ではなく、ご家族と一緒にお願いします。
なお、ご家族が別々の時間に来院され、医師が各々説明することはご遠慮願います
- ◆ 担当医からまとまった説明をお聞きになりたいときは、ご希望の日程を看護師にお申し出
ください。(説明日時を調整し連絡いたします)

第3条

意思表示は明確にしておく

- ◆ 輸血に関する希望、宗教的なこと、ドナーカード、人工呼吸器の使用など、意思表示のある場合
はその旨を明確にお伝えください
- ◆ 患者さんご本人の意思表示が不明の時は、ご家族の希望をお聞きします

第4条

- ◆ 通院中または入院中に担当医の説明の他に、他医療機関の医師の意見も聞いてみたいとお考えの場合は、担当医または看護師にお申し出ください。診療に関する情報提供書などをご準備することも可能です

第5条

薬に関して

- ◆ 普段から服用しているお薬や、薬物アレルギーがございましたら、あらかじめお教えてください
- ◆ 薬を受け取る時には処方された薬を、薬剤師または看護師と一緒にご確認ください
- ◆ 点滴・注射や内服を始めた後に、体調の変化などがございましたら詳細にお伝えください

第6条

患者さんの確認(氏名、点滴、手術、検査、輸血など)

- ◆ すべての入院患者さんにネームバンドを着用させていただきます
- ◆ 患者さんのお名前を、ネームバンドをもとにバーコードで認証いたします
- ◆ 検査や注射などを行う場合に患者さん確認のため、患者さん自身にお名前と生年月日をおっしゃって頂きます。疑問な点はその都度お声掛けください。ご協力お願いします

第7条

転倒・転落などの危険防止

- ◆ 患者さんの状態や疾患によっては、転倒・転落などの危険が生じることもございます
危険が予想される場合は、ご家族へ付添などの協力をお願いすることがございます
- ◆ 危険を防止するために、ベッドや車椅子の工夫、薬剤投与、身体抑制などの対応をおこなうことがございます
- ◆ 眠剤の内服はふらつきの原因になりますので、十分ご注意ください

第8条

当院へのご意見

- ◆ 患者さん・ご家族のご意見、ご要望を直接お聞きする窓口として、医療安全推進室が
「利用者の声」として意見箱が設置されております、お気軽にご利用ください

入院中の転倒・転落予防

患者さんにとって入院中は家庭と環境が異なることや、治療の影響で体力低下し普段より転びやすい状況となります。そのため、思いがけない転倒・転落事故が起こることが少なくありません。私たちスタッフは、生活環境の整備をしながら転倒転落の予防に十分注意し、患者さんに安全で快適な入院生活を送っていただくよう努力しております。さらに安全を高めるためにご家族のご協力が欠かせませんのでよろしくお願いたします。

ご心配なことがありましたらご遠慮なく看護師や担当医師にご相談ください。

1 安静による筋力低下、ふらつき

入院・安静による筋力低下が起こります。いつものように動けると思い、自力でベッドから降りて歩行することで、ベッド周囲でしりもちなどの転倒をすることがあります。

入院後ベッドへ横になっている時間が長いほど筋力低下が起こります。急に立ち上がることで膝折れなどの症状が起こります。

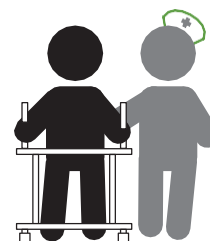
安静後、急に動き出すことによる起立性低血圧など、めまいに似た症状が起こります。



2 看護師に対する遠慮

自分できると思い、動き出したことにより転倒することがあります。

看護師を呼べと言われたが、これぐらい1人で大丈夫・・・という思い込みは禁物です。遠慮無く看護師を呼んでください。



3 入院環境の変化による不安定な状態

高齢者に多くみられますが、入院や術後のストレスによる環境の変化に対応することが難しく認知症のような症状がでることがあります。それによって、判断力が低下し転落・転落することがあります。

4 ベッド周囲の環境による転倒

特に夜中は足元が暗く、転倒する危険性があるため、ベッド周囲は整理整頓しましょう。

軽量ですべりにくく、かかとのあるはき物の準備をお願いします。
※スリッパはご遠慮ください。



5 睡眠薬服用後の転倒

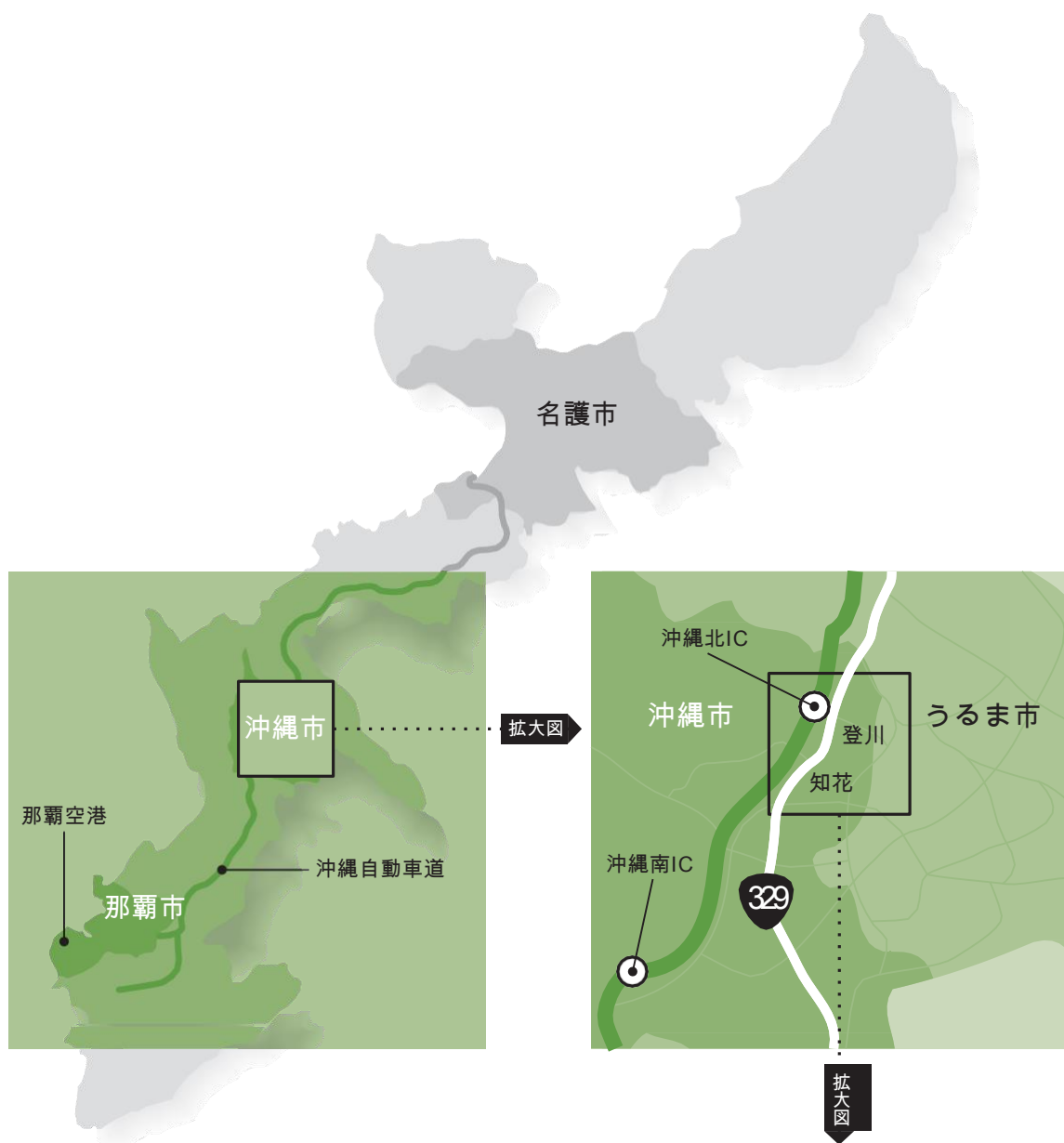
睡眠剤を服用すると、歩行時に足元がふらつき、転倒することがあります。普段自分で歩ける人でもふらついて転倒することがあります。

特に初めて睡眠薬を服用した場合は、歩行する際、ナースコールを押してください。



早期からのリハビリを推奨しています

筋力低下を予防するために、入院早期からのリハビリを推奨しています。ベッドサイドでの自己判断でリハビリをすることでの転倒もあります。リハビリの先生と相談し状況にあったリハビリを勧めます。



アクセス

- 沖縄北インターチェンジから車で約3分
- 無料送迎バスを運行しております
 外来受診などに是非ご利用ください
 読谷コースと与勝コースが出ています

※ 敬和医院への最寄りのバス停は
 「中頭病院前」となっております

※ 時刻表はホームページまたは
 中頭病院へお問い合わせください



社会医療法人 敬愛会
 敬和医院

<http://www.nakagami.or.jp/>

〒904-2142 沖縄市字登川566番地
 TEL.098-923-1260 FAX.098-939-2437

令和4年2月 制定